

# 令和7年度 訪問看護利用者アンケート結果

## <アンケート実施要領>

### 1. 調査実施期間

令和8年1月13日（火）～2月27日（金）

### 2. 調査対象

令和8年1月のご利用者様（入院中の方など除いて）61名のうち、60名の利用者様から回答が寄せられました（回答率98%）。

### 3. 調査目的

当ステーションでは、ご利用者様によりよいサービスを提供する為に、現行のサービス内容への満足度と改善すべき点を把握することを目的に、アンケート形式により調査を実施しました。

## <調査結果>

#### ・ご利用者年齢

40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	無回答
3名	5名	8名	9名	19名	14名	1名	1名

#### ・ご利用者性別

男性	女性	無回答
21名	38名	1名

#### ・訪問回数

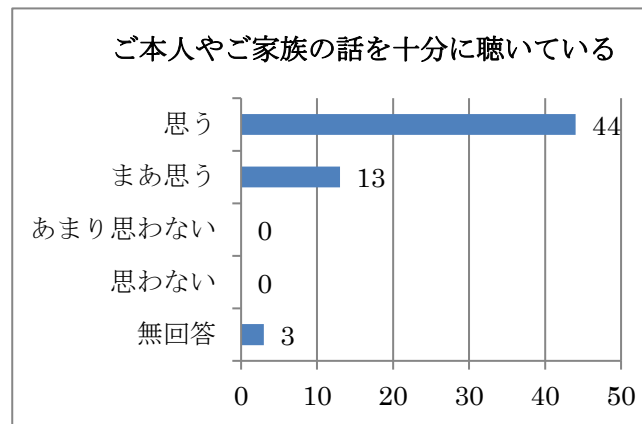
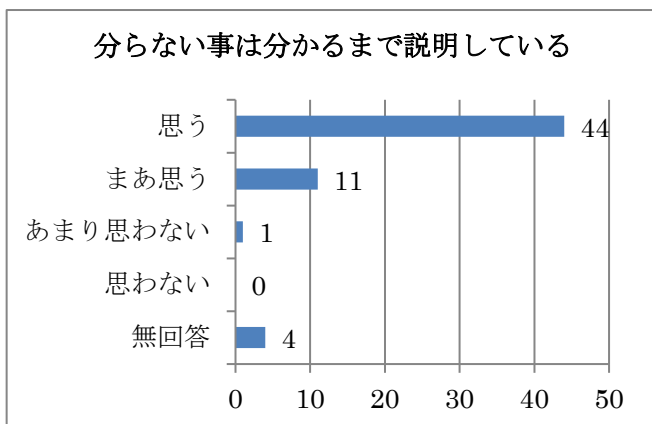
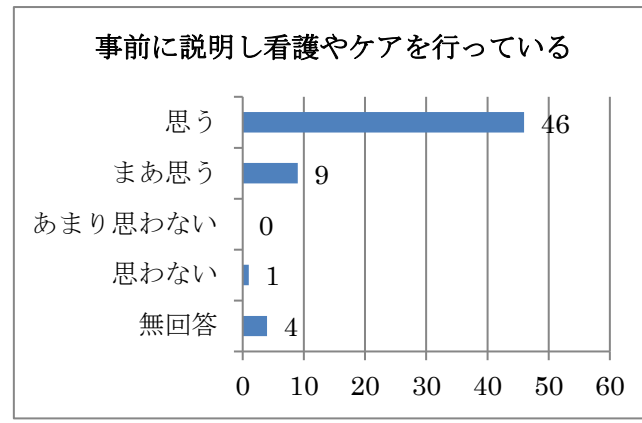
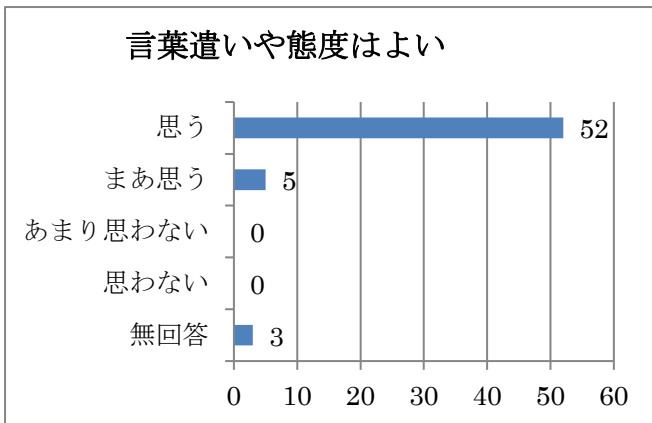
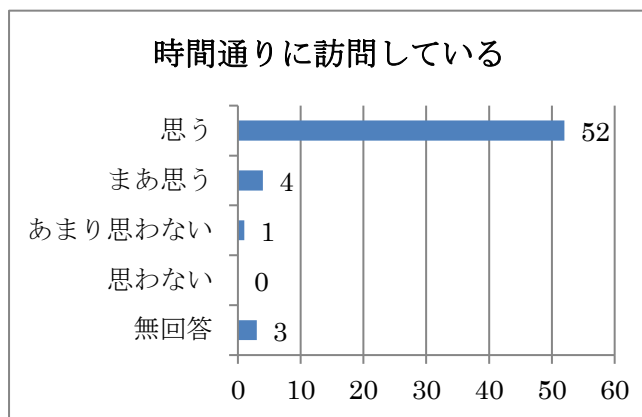
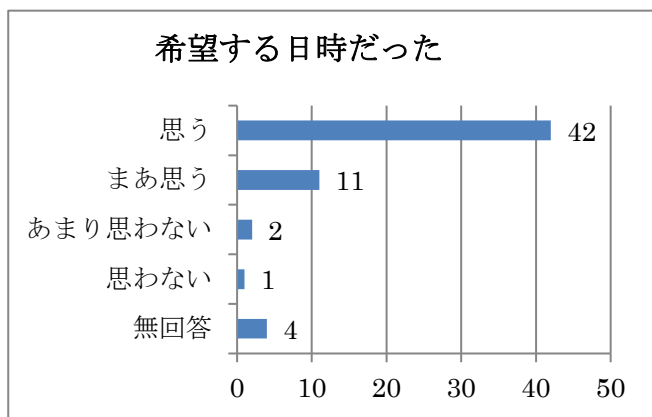
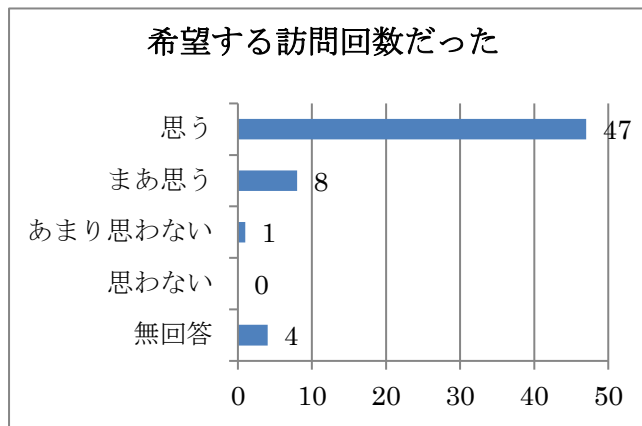
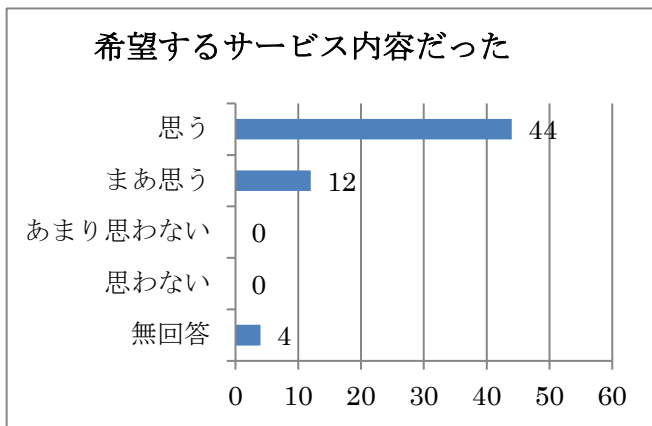
週1回	週2回	週3回	週4回	月1回	月2回	月3回	月5～6回	無回答
28名	16名	4名	1名	3名	2名	1名	4名	1名

#### ・アンケートにご回答いただく方はどなたですか

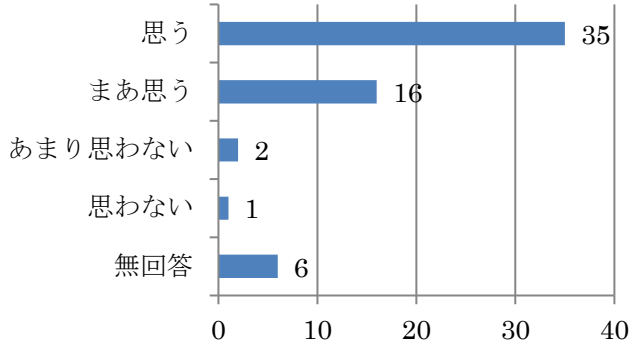
ご本人	配偶者	子	親	子の配偶者	無回答
43名	6名	8名	1名	1名	1名



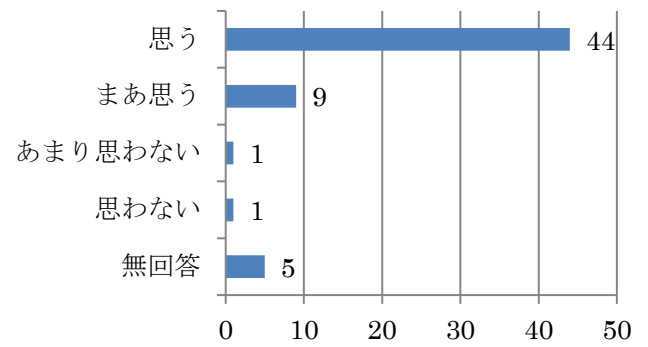
問1. 訪問看護師・機能訓練士が行うサービスについて、次の項目はどのように感じますか？



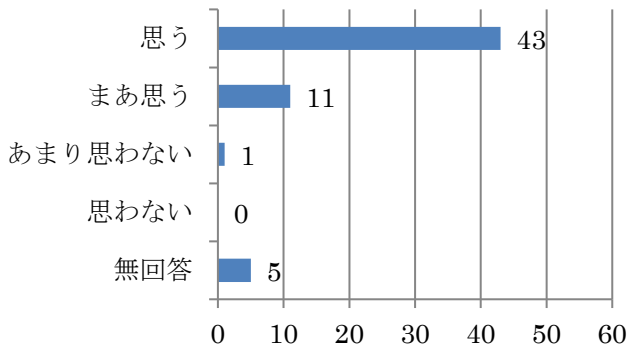
今後の状態について適切な説明や助言がある



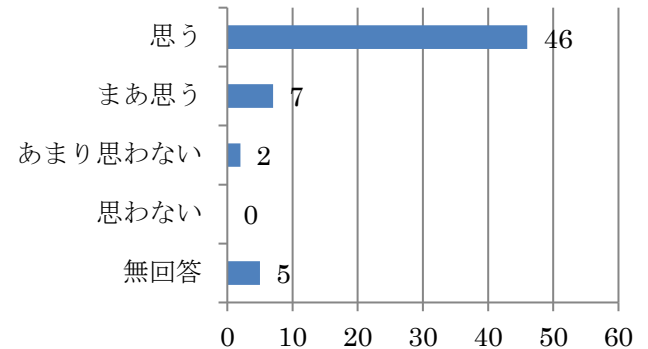
ケアを手際よく行っている



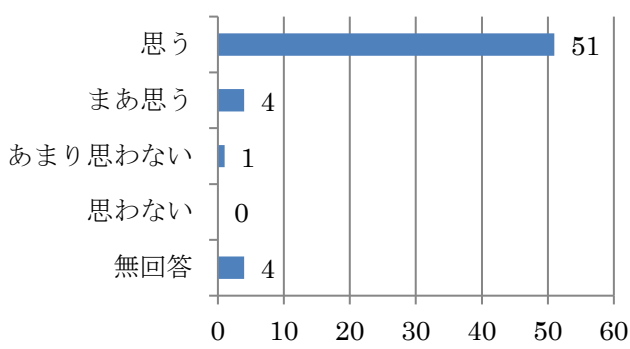
ケアを実施している時間は適切である



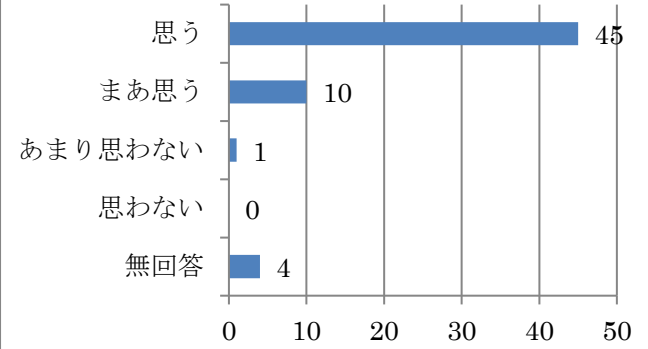
医師や関連機関へ連絡をきちんとしている



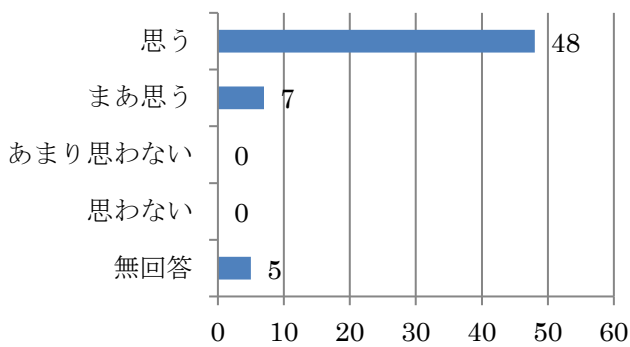
約束はきちんと守っている



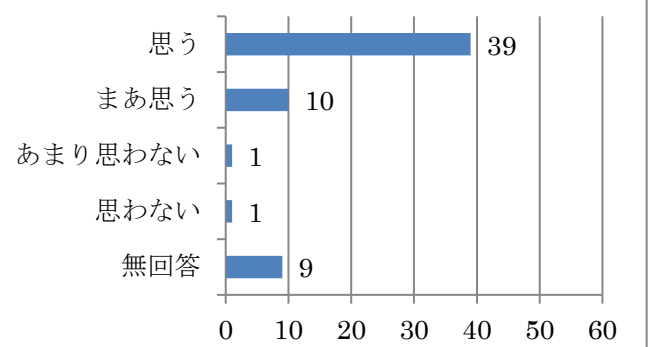
ご本人やご家族の気持ちの支えになっている



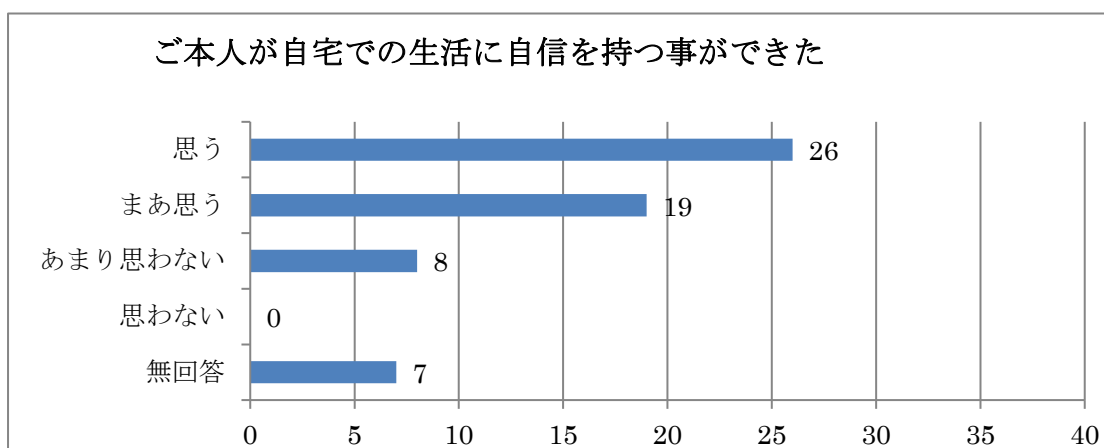
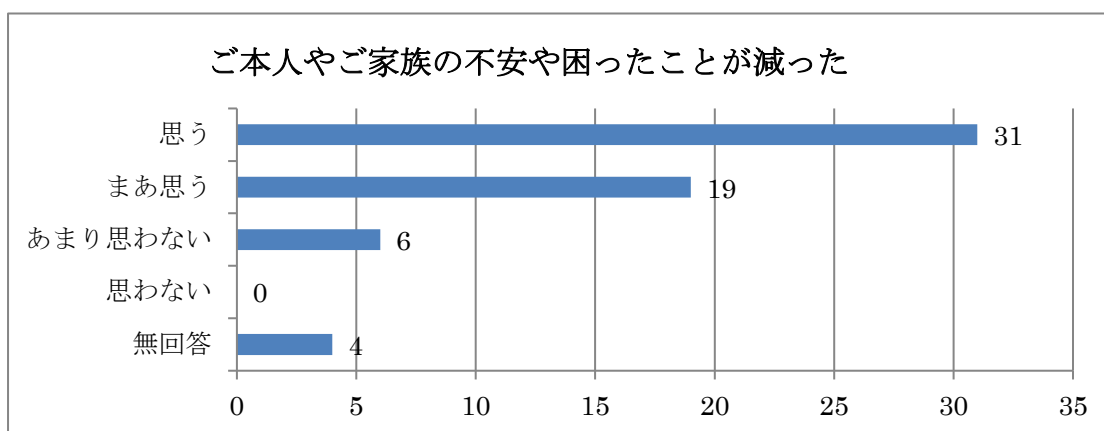
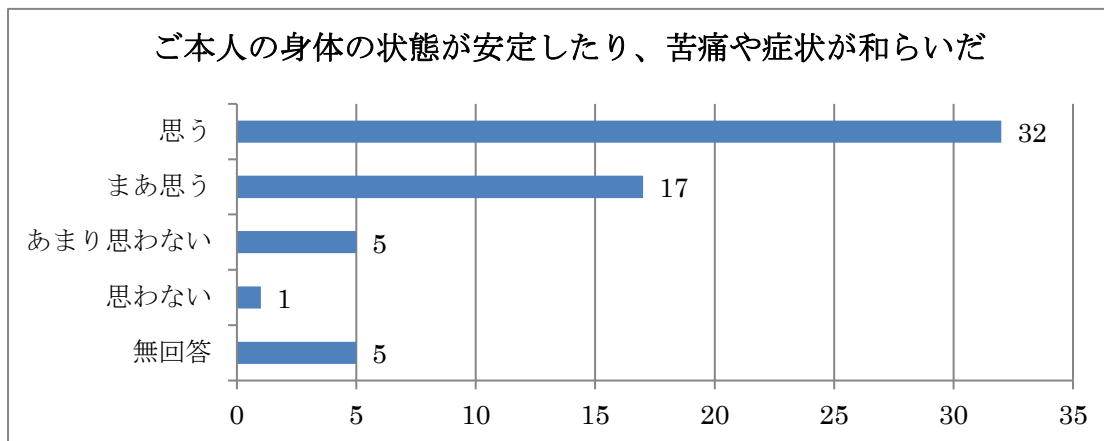
全般的に安心してサービスを受けられる



訪問看護利用の手続きは簡単だった



問2. 訪問看護・機能訓練を利用する前と比べて、どのように感じますか？



問3. 今後充実してほしいと思うものを選んでください。(複数回答あり)

機能訓練（リハビリテーション）	11名	感染予防のための方法や助言	8名
病気や薬について詳しい説明	11名	身体の清潔に関するサービス提供	9名
介護用具に関する情報提供	10名	口腔を清潔にするための助言	8名
排泄に関することの相談	11名	食事内容や食事栄養に関する助言	8名
介護を楽に行うための助言	10名	床ずれ予防のための助言	8名
利用者本人の相談や話し相手	22名	公的助成などの情報提供	13名
介護の相談	12名	その他（自分の親の事）	2名

問4. 当事業所または訪問看護師、機能訓練士への意見・要望

訪問看護様。お世話になって、もうすぐ2年になりますが、本人はあまり口には言いませんが、今ではお世話していただいて良かったと思います。これからもよろしくお願いします。

困っている私に親切にいろいろな助言を戴き、少しずつ気持ちが楽になりました。これからも宜しくお願いいたします

他人としゃべることが減ってきているので、訪問看護の方としゃべることができることで、しゃべることの衰えが減っていると思います。

スタッフ間や家族とも、よく連絡をとり合っていていただき、感謝しています。家族へもお声かけをいただき励みになっています。

本人も楽しく、安心している。よく相談にものってくれる。

いつも大変お世話になっております。暖かく接していただき、感謝でいっぱいです。引き続き、宜しくお願いいたします。

下痢など起こった時にもっと説明してほしかった。また、下痢しないか怖かった。

爪切りを上手にスムーズにやって欲しい。

健康管理をしてほしい。靴下を履いて、きちっと歩けるように手伝ってください。



## 「訪問看護利用者アンケート結果」から暖心のスタッフが感じたこと

- ・利用者さんから、ケアよりも傾聴・説明・助言などのコミュニケーションについて充実してほしいという意見が多かった。実際にもケアの後などそういった場を設けることが多い。しかしケアマネは保清や薬などの目に見える部分にのみ時間配分を考えがちであるが、相談や助言などもケアのひとつとして時間調整をしてもらえるようにケアプランなど一緒に見直していけると良い。
- ・利用者さんにより求められているのが、“相談や話し相手”であり、気軽に声掛けをいただけるような看護師でありたい。
- ・初心を忘れず、何年経とうが変わらない看護を提供できるように今後も頑張りたい。
- ・困った時に「頼りになる」と言ってもらえる関係を作る必要があると思った。
- ・公的助成などの情報を教えて欲しいと要望される方が多い。ケアマネの方がより詳しいが、実際に顔を合わす頻度が高いのは訪問看護であり、ケアマネなどの関係機関に橋渡しができるよう、制度などの勉強をしていきたい。
- ・職員間で訪問した状況を情報共有できていることが統一した良いケアにつながっていると思う。
- ・毎年リハビリを充実してほしいと思っている方が多く、さらに学びを深めなくてはいけないと思う。
- ・新規の方だけでなく、現利用者でリハビリの必要性がある方、生活動作にお困りの方、以前していた趣味や生きがいを再獲得したい等、看護師と情報共有しながら支援に繋がっていけると良い。また、現状のご自宅環境と本人の状態が本当に合っているか検討しながら、その方が求める在宅生活を実現できるように課題や目標を共有して達成に向けたリハビリを提供できるように取り組みたい。

### 「問2」について

- ・訪問看護、機能訓練が導入することで、7割以上の方が以前より症状や不安の軽減、在宅生活での自信の向上に繋がった意見があったが、問1に比べて回答に「あまり思わない」「思わない」により多くチェックが入っていた。今後ご本人、ご家族の不安や困り事が減るよう、安心して生活できるように心遣い、ケアも気をつけていきたい。